

# ましみずの里

No. 15  
R2. 12. 24  
校長  
海老洋一

～自ら学び ともに伸びる～ 自ら考え表現し合い・自ら聞きわかり合い・自ら挑み高め合う子どもを育てます

## 2学期をふいかえって

保護者の皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。

今日で2学期が終わります。特に行事については、日時を変更・延期したり、実際のやり方を変えたりして実施しました。全て、新型コロナウイルスに感染しないように、十分に気をつけながら、そして何よりもみなさん一人一人が、めあてを持って自分の持っている力を十分に発揮できるように、学習を行いました。そのとき大事に考えたのは、「行事を先生達が勝手に考え、勝手に変更したのではなく、みなさんの学習としてみなさんが成長できる学習にする！」ということです。

これまでも話しているように、高揃小学校はみなさんと先生達、全員で学習をつくっていく学校だからです。そのことは、みなさんの家にもお知らせして、ご理解とご協力をしていただきました。本当にありがとうございます。では、行事を中心にふりかえります。

**<土俵入り発表会>** 9月2日は、相撲大会に代わって初めての試みになった、「土俵入り発表会」を開催しました。6年生は去年の6年生から引き継いだ横綱土俵入り、幕内力士土俵入り、弓取り、行司、呼び出し、放送等の学習を、是非1年生から5年生までのみなさんに見せて、引き継ぎたいという思いを強く持っていました。「3密が心配だったので、相撲の取組はできないけれども、相撲の伝統を自分達の年でなくしてはいけない。下級生にコロナの時期でも6年生のがんばっている姿を見てもらって、自分達もがんばろうと思ってほしい。」という強い願いも込められた、6年生の見事な発表でした。見ていた下級生からは、「土俵入り発表会を見て、相撲大会をした気分になりました。呼び出しも大きな声で、弓取りもすごく迫力があって、素晴らしいと思いました。これからも自分達も引き継いでいきたいと思いました。6年生のように真剣に取り組んで自分の役割を一生懸命にやりたいです。」という感想が寄せられました。6年生の思いや願いがしっかり下級生に伝わり、うれしく思いました。



**<4・5年生自然体験学習>** 来年、高揃小の高学年になる、4・5年生が初めて一緒に体験を通して学習する「宿泊体験学習」。今年は宿泊なしで、自然の冒険活動とクラフトづくりに変更した「自然体験学習」を9月25日に行いました。5年生は、去年、今の6年生と一緒に活動したことをもとに、今の4年生と一緒に、「協力・挑戦・学び」をキーワードにめあてを立て、「安全第一で素敵な思い出を作ろう」と学習に取り組みました。あいにくの雨でしたが、限られた活動の中で、「あきらめないで冒険に挑戦してやりきる。」や「この学習で4年生と一緒に体験したことをこれからの学校生活で生かす。」と意欲を持って実施しました。今の4・5年生の毎日の学習で、自分で考え、友達のことをわかってしながら、みんなで高め合い、落ち着いて学習に取り組んでいる姿に、この学習の成果が表れていると感じています。



### <被爆ピアノコンサート>

広島県の矢川さんが持っておられる、被爆したピアノのコンサートを、10月5日に行いました。



5年生のSさんは、次のような感想を持ちました。『原子爆弾が投下されて、その中で奇跡的に焼け残ったピアノが今日、私たちに素敵な音色を聞かせてくれました。今から75年前の出来事ですが、私達も日本人として戦争のことを知らなければいけないと思っています。今生きている、この当たり前の日常が、どんなに幸せなのかを理解して、毎日を大切にしないではいけません。そして一人一人が「戦争を起こしたくない、二度と起こらないようにしたい」という思いを忘れないでいたら、戦争という残酷なことは起こらないと思います。』全くその通りですね。私達一人一人の心の中に、「平和とは何か？そして、戦争のない、日本や全世界が、みんなで平和な世の中を続けていくために、自分はこれから、何を考えていかなければいけないのか？」を考えさせてくれる、素敵なコンサートになりました。いつまでも、みなさんの心の中に、響き続けてほしいと願っています。



### <徒競走記録会>

今年は、密になり、感染が心配される運動会競技や応援を中止とし、10月7日、学年ごとに、6レーン中3人で間隔を取りながら「自己新記録」をめざした「徒競走記録会」に変更して行いました。運動会が徒競走だけの競技になってしまって、とても残念でくやしかった人はたくさんいると思います。それでもみなさんは、9月の学習から「どう走ったらタイムが縮まるか、どう腕をふって走ったらいいか、速く走れるか」自分のめあてを持って一生懸命に取り組みました。友達と走る速さを比べるよりも、自分のタイムを縮めて学習に取り組むことに価値がある学習になりました。力を抜いて、ふざけて走っている人は、高揃小には一人もいませんでした。走るのが得意な人も走るのが苦手な人も、自分のめあてに向かって学ぶことができるみなさんの学習態度は、高揃小の自慢の1つです。

### <ましまし学習発表会>



みなさんが学習の成果を発表するにあたり、みなさんや保護者の方々が絶対に感染しないことを考えて、保護者の方へと、2つの学年ごとの発表という、2回発表する場を設定して、初めて行いました。特に、保護者の方々から見ていただいた発表会の後、温かい励ましや発表を褒めてくださるメッセージをいただき、ふりかえることができました。そしてそれをきっかけに、2回目に発表した10月29日のめあてにもなり、さらにレベルアップした発表になりました。また、2学年でお互いに見合った発表会の感想をカードに書いてプレゼントし合っ、廊下に掲示してありますね。「発表の内容が勉強になった、表現がすごかった、おもしろかった。」等、気づいたことがたくさんありました。そして何と言っても、下の学年のみなさんが、上の学年のみなさんの表現のよさに気づき、「自分も〇年生のようになりたい。」とあこがれを持たた大事な学習になったと感じました。その他にも、下学年と上学年のみなさんがかかわる学習として、縦割り班で遊んだり、10月30日に全校遠足に行ったり、12月に行ったクリスマス集会も楽しかったですね。縦割り清掃でも協力し合っ、学校中がきれいになりました。このように充実した2学期の学習、くらし、行事をここにいる291名全員でつくり上げてきたこと、私は誇りに思います。

明日から冬休みです。クリスマス、お正月など楽しいこともたくさんありますが、冬休み中も、そして3学期からもコロナウイルス感染症の予防をしながら、なりたい自分に向けた学習は続きます。その時、心に留めてほしいことをもう一度話します。それは、私達がたたかう相手はウイルスで、人ではないということです。でも実際に感染した人が身近にいれば心配だったり、不安になったりすることは普通にあります。だからといって、その人を責めたり、いじわるをしたり、差別したりする言葉を言っても、何も解決にはなりません。誰かが悪いわけでも、誰かのせいでもありません。これからもコロナを乗り切るために必要なのは、お互いに優しさを持ちながら、思いやりの和を広げ、支え合うことです。そのことを心にしっかりと受け止めて、年末年始そして3学期からのくらしをつくっていきましょう。来年の1月7日、3学期の始業式で、また元気でみなさんに会えることを楽しみにしています。よい年を迎えてください。